

報道関係者各位

2012年3月5日

issue+design実行委員会

神戸市デザイン都市推進室

株式会社 博報堂

「震災復興+design」4作品が入賞

『できますゼッケン』を生んだ市民参加型プロジェクトissue+designによるデザインコンペ
10年後の被災地と日本の課題を解決する入賞4作品が決定

神戸市デザイン都市推進室と博報堂らが推進する市民参加型ソーシャルデザインプロジェクト「issue+design」は、東日本大震災の被災自治体の10年後(2020年)を想定した、復興のための商品、サービス、空間、仕組みなどのアイデアを、広く市民から募集するソーシャルデザインプロジェクト「震災復興+design」を昨年10月より実施してまいりました。このたび、全265応募作品(うち24作品が一次審査通過)の中から、市民評価、最終審査を経て、入賞4作品が決定いたしましたので、ご報告いたします。今後はこれらのアイデアの実現に向けて、プロジェクト化を進めていく予定です。

【被災地課題発見賞】

行方不明者手続書

「死亡届」を記入し・届け出さなければならない行方不明者の家族の気持ちに寄り添い、死を想起せずに記入でき、行方不明者への祈りを込めた行政書類。



【防災コミュニティ賞】

原始的な日を創る

インフラなどに頼らず一日を過ごす「原始的な日」という暦、およびその日に実行する家族と地域でつくる“お泊り保育”の活動。



【防災インフラ賞】

街の中のハザードマップ

現在地の安全情報を身近に確認できるシステム。揺れによるダメージが比較的少ない信号等の構造物を利用して表示し、災害による停電時の機能も確保。



【復興行政(神戸)賞】

+おにてんでんこ

災害を3種類の鬼(津波、火事、地震)に見立て、それから逃げるという遊びを通し、子供が日常的に防災について考えるための教育プログラム。



デザインコンペ詳細 http://issueplusdesign.jp/project/06_fukkou/ (twitter アカウント@iplusd)

お問合せ先:

神戸市デザイン都市推進室内 本田 TEL:078-322-6575

株式会社 博報堂 広報室 山野 TEL:03-6441-6161

(※本リリースは神戸市記者クラブで配布しています)

<受賞4作品紹介>

【被災地課題発見賞】

行方不明者手続書

心に寄り添う行政書類のかたち

「死亡届」を記入し、届け出さなければならない行方不明者の家族の気持ちに寄り添い、死を想起せずに記入でき、行方不明者への祈りを込めた行政書類。

行方不明であっても遺族年金や保険金を受け取れる特別措置の条件として、家族は死亡届を記入しなければならず、確かな証拠がないまま愛する人を死者とみなすことに苦しみと戸惑いを感じている。「行方不明者手続書」は、届出にきた家族の気持ちに配慮し、死を想起せずに行方不明者の情報を記入できる内容になっている。手続書は複写式で死亡届の上に重ねられており、家族は直に死亡届を記入することはない。

行方不明者手続書 (本人の注意)
 * 紛失や破損や汚損や折損がなければなりません。
 * 訂正は裏面に記載する事項に限り訂正する場合は訂正してください。
 * 行方不明者の失踪届がない状態に訂正する場合は訂正してください。
 (後継が所有と認めるときは、1歳で変更することもあります。)

(はみかた)
 氏名: 姓 _____ 名 _____ □男 □女
 生年月日: 西暦 昭和 年 月 日 * 生後3ヶ月以内だった場合は □年 月 日 □時 分
 失踪したとき: 平成 年 月 日
 失踪したところ: _____
 住所: _____
 失踪を認めているところ: _____
 本籍: _____
 失踪者の氏名には、戸籍のほかに記載されている人の氏名を記入してください。
 失踪者の氏名: _____
 * 内職のものはいくらでもありません。
 行方不明者の死または葬: □いる(葬儀) □いない(火葬) □既知(埋葬)
 * 届け出られた事実は人口動態調査(失踪届に基づく調査)時限り、原簿(有職者簿)にも用いられます。
 失踪したときの世帯のおもな仕事: □1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を併せている世帯 □2. 自由業、商工業、サービス業等を個人で経営している世帯 □3. 企業、個人商店等の常務取締役や専務取締役の従業員が1人から99人までの世帯 ※ 管掌庁は除く/日または1年未満の契約の雇用者→5→ □4. 3にあてはまらない、専務取締役や専務取締役以外の役員の仕事 ※日または1年未満の契約の雇用者→5→ □5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 □6. 仕事をしていない世帯

行方不明者の職業・職業: _____
 その他: _____

【防災コミュニティ賞】

原始的な日を創る

家族と地域でつくるお泊り保育

インフラなどに頼らず一日を過ごす「原始的な日」という暦、およびその日に実行する家族と地域でつくる“お泊り保育”の活動。

震災を忘れないために、未来の震災に備えるために、ヒトと自然との関係を体験として記憶し、その記憶を次代へ伝えていく仕組み。インフラなど人工的なものに頼らず、原始から存在する自然的なもののみを使用して生活する一日「原始的な日」を設定し、子どものお泊り保育として実施。子どもは家族や地域住民とともに、昔ながらの遊びを楽しんだり、その地域の伝統料理などを教わるなど、原始的な生活を体で感じて記憶し、子どもの生きる力の素地をつくる。












【防災インフラ賞】

街の中のハザードマップ

現在地の安全情報を身近に確認できるシステム。揺れによるダメージが比較的少ない信号等の構造物を利用して表示し、災害による停電時の機能も確保。

突然の震災に遭った時、現在地の安全情報が分かれば、よりの確な安全確保の行動をとることが可能になる。「ここで大地震にあったら、今いる場所は安全なのか、安全な場所はどこなのか」という情報を、信号や街路灯などを利用して表示し、迅速な判断と安全な避難を助けるデザイン。緊急時に機能する活きたハザードマップになると同時に、日常の危機管理の意識を高めることにもつながる。



| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|--|---|---|------------|----------------|-------------|
| <p>【復興行政(神戸)賞】</p> <p>+おにてんでんこ</p> | <table border="0"> <tr> <td data-bbox="930 293 1046 353"> <p>あおおに(水害) 파란도깨비(홍수) 藍鬼(水災)</p> </td> <td data-bbox="1110 293 1230 353"> <p>あかおに(火災) 빨간도깨비(화재) 紅鬼(火災)</p> </td> <td data-bbox="1294 293 1414 353"> <p>きおに(地震) 노란도깨비(지진) 黃鬼(地震)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="935 360 1034 465">  </td> <td data-bbox="1110 360 1222 465">  </td> <td data-bbox="1302 360 1406 465">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="954 472 1018 495"> <p>高おに</p> </td> <td data-bbox="1110 472 1241 495"> <p>ハンカチ落とし</p> </td> <td data-bbox="1313 472 1398 495"> <p>押し相撲</p> </td> </tr> </table> | <p>あおおに(水害) 파란도깨비(홍수) 藍鬼(水災)</p> | <p>あかおに(火災) 빨간도깨비(화재) 紅鬼(火災)</p> | <p>きおに(地震) 노란도깨비(지진) 黃鬼(地震)</p> |  |  |  | <p>高おに</p> | <p>ハンカチ落とし</p> | <p>押し相撲</p> |
| <p>あおおに(水害) 파란도깨비(홍수) 藍鬼(水災)</p> | <p>あかおに(火災) 빨간도깨비(화재) 紅鬼(火災)</p> | <p>きおに(地震) 노란도깨비(지진) 黃鬼(地震)</p> | | | | | | | | |
|  |  |  | | | | | | | | |
| <p>高おに</p> | <p>ハンカチ落とし</p> | <p>押し相撲</p> | | | | | | | | |
| <p>災害を3種類の鬼(津波、火事、地震)に見立て、それから逃げるという遊びを通し、子供が日常的に防災について考えるための教育プログラム。</p> <p>子どものころの防災教育の記憶は、その後の防災意識の基本になるが、避難訓練に真剣に取り組ませることはなかなか難しい。「+おにてんでんこ」は、「たかおに」「ハンカチ落とし」「押し相撲」という3つの“おなじみの遊び”に防災ポイントを添えて防災意識を身につけるプログラム。「たかおに」では、「津波の際、高いところへ逃げる」ことを、「高い場所に登れば、おにはタッチできない」体験で刷り込む。3つの遊びは日中韓共通の遊びで、東アジア全域に展開可能。</p> | | | | | | | | | | |

入賞作品の詳細は http://issueplusdesign.jp/project/06_fukkou/ で公開しています。

当初発表の通り、入賞作品はいずれも著作権フリーのデザインアイデアとして開放いたします。自治体、個人、団体などで自由にご活用いただくことが可能です。

<「震災復興+design」プロジェクト概要>

●デザイン課題

東日本大震災により、数多くの貴重な命が失われ、沿岸部のまちや集落は壊滅状態に陥りました。この震災で、我々日本人は「自然の猛威」と「科学の危うさ」を思い知らされました。同時に、「日本人の底力」と「つながりの大切さ」を実感したに違いありません。10年後の2020年、この危機を乗り越えた先の被災地には、今までとは異なる新しい地域コミュニティが誕生するでしょう。そこには、どんな街が、住まいが、産業が、インフラが登場するでしょうか？被災地が抱える中長期的な課題を発見し、その解決に必要な商品、サービス、空間、情報、仕組みのデザインを提案してください。皆さんのアイデアの積み重ねが被災地・東北の未来をつくります。

●対象デザイン

課題解決に必要なプロダクト、サービス、場、仕組み、政策、空間、建築、ランドスケープ、まちづくり、グラフィック、ウェブなど領域は問いません。

●デザイン公募期間

2011年10月1日～11月30日

●審査について

仙台・東京・神戸の3地区での審査会の結果、および市民投票の結果より、上記の4作品が「震災復興+design competition」入賞作品として選定されました。

最終審査では、デザイナー、研究者、被災地の行政・企業・NPO関係者など、震災復興に関する様々な立場の審査員16名が「課題の理解度」「創造性・審美性」「実現可能性」の3指標で評価し、市民投票の結果と合わせて選考いたしました。

最終審査 審査員（敬称略）

| | | |
|------|---------------------|--------------------------------|
| 仙台地区 | 飯川 洋一 | みちのく6次産業プラットフォーム 理事 |
| | 石井 力重 | アイデアプラント 代表 |
| | 井上 きみどり | ノンフィクション漫画家 |
| | 千葉 伸一 | 松島町松華堂菓子店 代表取締役 |
| | 島山 茂陽 | NPO法人ファイブブリッジ 理事長 |
| | 平垣内 清 | 宮城教育大学教育学部美術講座 准教授 |
| | 宮城県内被災自治体震災復興担当者 1氏 | |
| 東京地区 | 岩井秀樹 | 特定非営利活動法人ジェン(JEN) |
| | 笥 裕介 | 博報堂生活総合研究所 / 博報堂 i+d |
| | 清須美匡洋 | 九州大学大学院芸術工学研究院 教授 |
| | 永井一史 | HAKUHODO DESIGN 代表 |
| 神戸地区 | 槻橋 修 | 神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授 |
| | 根岸芳之 | 神戸市デザイン都市推進室 |
| | 本田 互 | 神戸市デザイン都市推進室 |
| | 宮前輝明 | 株式会社フェリシモ |
| | 山崎 亮 | 株式会社 studio-L 代表 / 京都造形芸術大学 教授 |

●賞金・副賞

入賞各震災復興支援金 30 万円他

* 今年度の賞金は震災復興支援金と位置づけ、応募者自らがそのアイデアを実現するための事業費用、制作費用、NPO等の支援費用、被災地への義捐金など、復興支援に使用頂く資金としてご提供いたします。

●運営体制

主催 : issue+design 実行委員会 共催 : 神戸市

運営 : 博報堂イノベーション・ラボ / hakuodo+design / studio-L / FELLISSIMO

<参考> issue+design について

issue+design(イシュー・プラス・デザイン)とは、神戸市の震災 15 年およびユネスコデザイン都市認定記念の市民参加型ソーシャルデザインプロジェクトです。生活者の声を集め、解決すべき社会課題を発見し、コンペとワークショップで解決アイデアを募ります。2008 年度に実施したプロジェクト「避難所+design」からは、東日本大震災支援ツール「できますゼッケン」が生まれ、気仙沼市、釜石市、石巻市他の被災地でご活用いただいています。 <http://issueplusdesign.jp/>



個人のスキルを可視化しボランティアを支援する「できますゼッケン」(08 年プロジェクトより)



食品廃棄物削減のために賞味期限を管理する「食品管理レシート」(10 年プロジェクトより)